

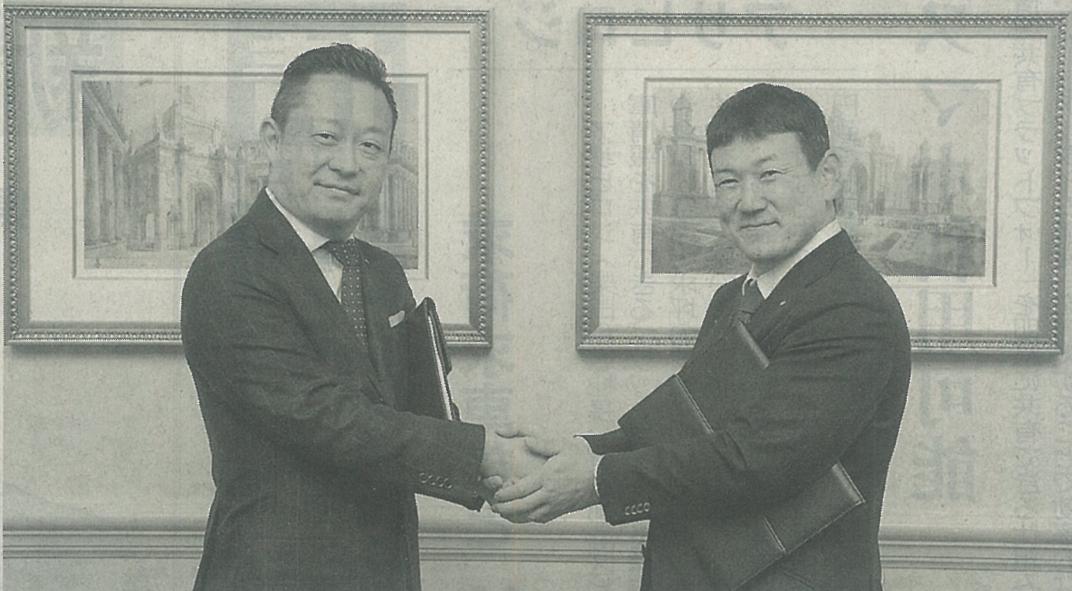
物流ニッポン

堀内商事、衛生設備工事会社を買収

3

ヘッドライン

握手を交わす堀内商事の堀内社長(左)と永野設備工業の永野社長



建設業者の負担軽減

1月24日付で永野設備工業の株式の51%を取得。同社は「住設ドットコム」のブランド名で住宅設備専門のECサイトを運営しているほか、衛生、ライフライン、消防、空調設備の設計施工サービスを展開しており、日本全国に取り付け・

取り替え工事を行える施工スタッフを派遣可能な体制を持つ。

堀内商事はHMDS(堀内資材配送システム)のプラットフォームで、建築図面から必要な部材をリストアップする

発注業務、納品時期の調整など、通常は商社や建材メーカーが請け負う業務を一貫して担う住宅建材物流サービスを提供している。今

HMDsでの設備施工は2020年9月以来にサービスを開始する計画。21年3月期のグループ売上高は20年3月期見込み比で約4割程度増の85億円を見込む。

堀内社長は「住宅建材の一貫物流を行う中で、ハウ

住宅資材輸送を手掛ける堀内商事(堀内正行社長、大阪市福島区)は、衛生設備工事の施工やEC(電子商取引)事業を手掛ける永野設備工業(永野祥司社長、大阪府岸和田市)を傘下に收め、住宅資材一貫物流サービスの更なる拡充を図る。従来の積算業務や受発注業務に加え、輸送した住宅設備の施工を行うことで関連業務の幅を広げるとともに、建設業者の負担を軽減。顧客ニーズによりきめ細かく対応し、サービス品質の向上を図る。

(蓮尾輝)

堀内商事

住宅資材 配送から施工まで 一貫

衛生設備工事会社を買収

での施工にまで取り扱い範囲を広げる。

また、永野設備工業においても、「住設ドットコム」で取り扱うエアコンや給湯器といった商品の季節波動が課題となっていたが、堀内商事と協力して新築住宅や施設の設備施工を受注することで波動の平準化を図る。

ビルダーから『住宅設備を運ぶなら施工の手配もお願いしたい』という要望を多くいただき、今回の提携に至った。HMDSの更なる発展を見据えており、今

はまだ途上に過ぎない。今後も協力会社とのシナジーを生かし、顧客にとってメ

リットのあるサービス拡充を目指す」と話す。